

## 4 カリキュラムの概要

幅広い知識をもち、学際的な勉学に取り組めるよう、所属学科以外の学部・学科も選択履修できます。

- 教養豊かな幅広い知識をもち、基礎学力の堅固な基盤と高度な専門能力をもった有為な人材を育成するために、本学では下記の構成からなるカリキュラムを用意しています。

### ユニバーシティ・スタンダード科目

|             |         |         |         |
|-------------|---------|---------|---------|
| 玉川教育・FYE科目群 | 人文科学科目群 | 社会科学科目群 | 自然科学科目群 |
| 学際科目群       | 言語表現科目群 | 教職関連科目群 | 資格関連科目群 |

### 学 科 科 目

|         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 100番台科目 | 200番台科目 | 300番台科目 | 400番台科目 |
|---------|---------|---------|---------|

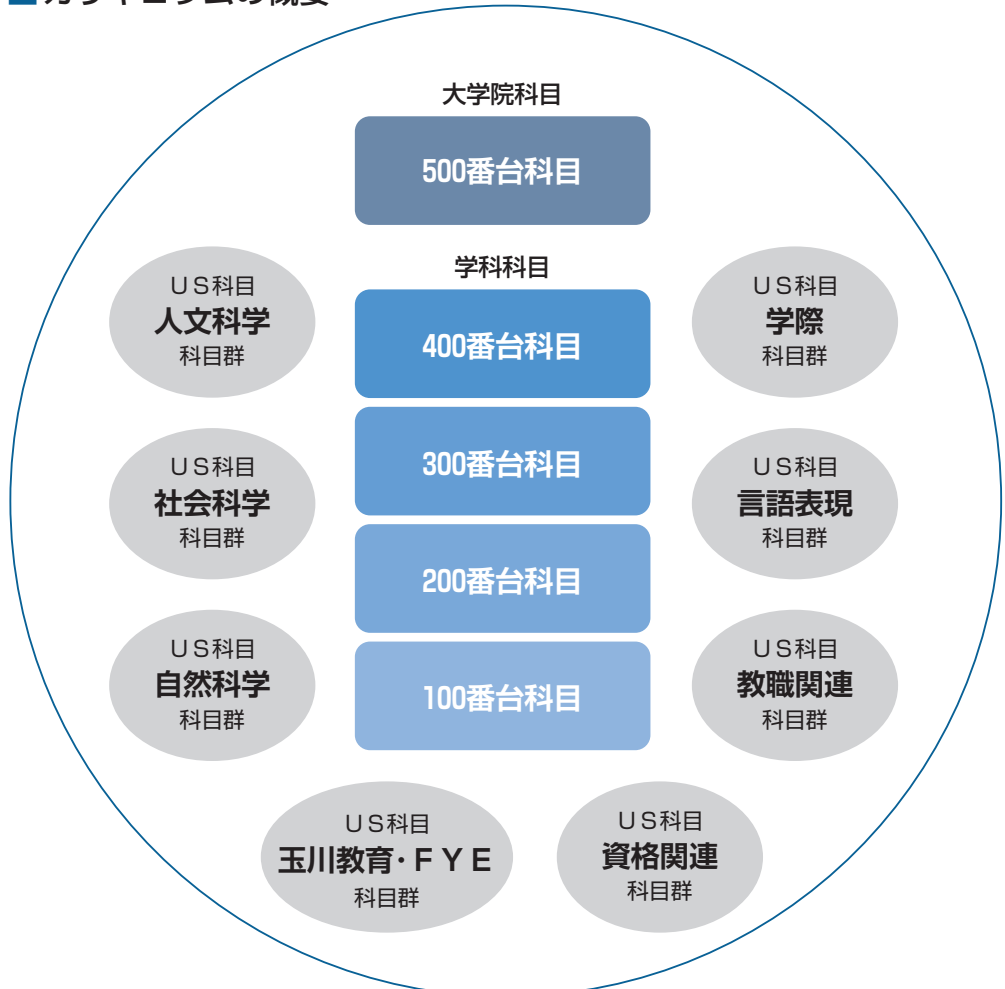
### 大 学 院 科 目

|         |
|---------|
| 500番台科目 |
|---------|

- 特色としては、誰もが学際的な勉学に取り組めるよう、所属する学科以外の学部・学科で開設されている科目も選択履修できるよう配慮されていることが挙げられます。

\*ただし、各学部の教育課程表で、他学部・他学科科目受講欄に「○」がついているかどうかを確認すること。

## ■ カリキュラムの概要



\*ユニバーシティ・スタンダード (US)科目の中には、学部が指定する科目があります。

#### ▶カリキュラム

大学教育の目的を達成するために、教科の配列や時間配当などの教育計画を示したものを「教育課程」ともいいます。

#### ▶初年次教育

参照『履修ガイド』p.13

## ユニバーシティ・スタンダード科目

- 学士課程教育において重要な役割を果たす教養教育と専門教育の連動をめざして構成されています。
- 諸科目は、広い教養の世界に旅立つ学生の原点となる科目です。専攻領域と並行して、ユニバーシティ・スタンダードの諸科目を学ぶことで、学生はさまざまな学問分野にふれることができると同時に、それぞれの分野を自らの専攻領域の学問的・社会的役割と関連づけて理解する機会が与えられます。
- 諸科目の学修は、みなさんが専攻する学問領域の知識体系の意味を明確にするだけでなく、自己の存在を歴史・社会・自然と関連づけて理解するうえで有益です。
- 「玉川教育・FYE科目群」「人文科学科目群」「社会科学科目群」「自然科学科目群」「学際科目群」「言語表現科目群」「教職関連科目群」「資格関連科目群」の8群から構成されています。

|             |   |
|-------------|---|
| 玉川教育・FYE科目群 | 玉川大学の教育は、創立者小原國芳の提唱した「全人教育」の理念のもとに実践されています。玉川教育・FYE科目群の各科目は、全人教育の核あるいは基底となるものです。  |
| 人文科学科目群     | 言語表現科目群と併せ、広く人類の文化について研究します。多文化・異文化についての造詣を深めると同時に、これまで人類が積み重ねてきた文化について学びます。  |
| 社会科学科目群     | 政治学や経済学に代表されるように社会現象を考察、分析、総合し、そこに一定の法則を見出すことをめざします。学修をととして市民の社会的役割と責任を理解することが求められます。                                   |
| 自然科学科目群     | 自然現象の法則を学ぶと同時に、人間の社会を発展させる自然科学の社会的機能を理解することが求められます。科学の素養を身につけるために、実際に演習および実験を行う科目も用意されています。                             |
| 学 際 科 目 群   | 人類がこれまで積み重ねてきた人文科学、社会科学、自然科学の知識をふまえ、社会の新たな課題にたいし、総合的に取り組む科目群です。特に、既存の学問領域の枠組みだけではとらえきれない事象についてさまざまな学問の知見を援用しながら学んでいきます。 |
| 言語表現科目群     | 日本語を含めた諸言語の運用能力・言語によるコミュニケーション能力の養成を目的としています。言語コミュニケーション能力は「聞く」「話す」「読む」「書く」の諸要素で構成され、人間が社会生活を営む際に、欠かすことのできないものです。       |
| 教職関連科目群     | 教育職員免許状を取得するために開設されている科目です。   |
| 資格関連科目群     | 各種資格を取得するために開設されている科目です。  |

\*FYEとは、First Year Experience<sup>®</sup>の略で、米国サウスカロライナ大学附属初年次教育研究機関（National Resource Center for The First-Year Experience & Students in Transition, University of South Carolina）の商標です。

## 学 科 科 目

- 各学科の教育目標に従って設けられた授業科目です。100番台から400番台まで4群に区分され、学修進度に合わせて順に履修するよう開設されています。
- また、大学院進学希望者のためには「大学院科目」が開設されています。
- 自分の適性や将来の進路を早い時期に見定めて、その目標に向かって、計画的かつ体系的に科目を履修するよう心がけてください。

|  |         |  |
|--|---------|--|
| 文 学 部<br>農 学 部<br>工 学 部<br>経営学部<br>教育学部<br>芸術学部<br>リベラルアーツ学部<br>観光学部 | 100番台科目 | 入門レベル。主に大学1年次を対象とした授業です。                             |
|  | 200番台科目 | 中級レベル。主に大学2年次を対象とした授業です。                             |
|  | 300番台科目 | 専門レベル。主に大学3年次を対象とした授業です。                             |
|  | 400番台科目 | 専門上級レベル。主に大学4年次を対象とした授業です。                           |
|  | 500番台科目 | 大学院レベル。大学院・芸術専攻科への進学希望者で、一定以上の優秀な成績を収めた学生が履修できる科目です。 |